

伝統の声が創る新しい諏訪の力

Suwa's New Dynamism Created through Traditional Voices



木遣とヨイク Project 2018

2018年11月11日[日] 13:30開演 (13:00開場)

茅野市民館コンサートホール

木遣



プログラム | シンポジウム 13:30- | コンサート 14:45-
| サーマ文化承継の取組 | 木遣とヨイク 声の共演

出演: 茅野市木遣保存会 / ミッケル・ラスムス・ロイエ / カタリーナ・バルック

企画・制作: Yoik and Kiyari Project 2018

プロデューサー: 守岡伸彦 / 名取敏行

演出: ハウクールJ, グンナルソン 舞台監督: 大島健司

特別協力: ノルウェー大使館

助成: スカンジナビア・ニッポンササカワ財団 / 長野県地域発元気づくり支援金活用事業

パートナー: ノルウェー国立サーミ劇場 / 南サーミ劇場

主催: Yoik and Kiyari Project 2018 共催: 茅野市民館指定管理者株式会社地域文化創造
コンサート運営: 木遣とヨイク実行委員会

先行予約など詳細は www.boazu-edu.com



Norwegian Embassy

SÁMI
SAMINATIONAL THEATRE
NAŠUNÁLA
TEAHTER
GUOVVAGEAIDNU NÓRGA



ÁARJELHSAEMIEN
TEATERE



中高生と
保護者のみなさんへ

諏訪地域に
暮らすみなさんへ

御柱を愛する
みなさんへ

北欧ノルウェー社会を参考に 諏訪地域の将来像を探る

その地ならではの自然、そこで育まれた言葉、歌、習慣、歴史、守られてきたものが持つ力強さと美しさがあります。
一方、日々の変化や進歩の中で、古きものとのバランスは難しい。私たちにあって、変わらず残すべきものとは何でしょうか。

特に、将来を担う地域の学生、彼らのお母さん方と考えたい。そのために、このプロジェクトを立ち上げました。

欧州の北極圏で困難を経て、守られてきたサーミ民族のヨイク。諏訪地域の御柱祭を通じて伝えられる木遣。
遠く8000キロ離れた伝統の声が、世界で初めて、諏訪で交わる機会をつくります。ぜひ、心揺さぶられる声の体験を共有しましょう。

2018年11月11日

長野県茅野市でお会いするのを楽しみにしています。

Yoik and Kiyari Project 2018 Global Team

f 木遣とヨイク / yoik and kiyari



茅野市木遣保存会のみなさん



木落しの様子



www.visitnorway.com



www.visitnorway.com

木遣とは

長野県の諏訪地域で、かぞえて7年に1度行われる御柱祭。山から切り出された御柱と呼ばれる大木を動かします。その重さは1本あたり10tと言われ、多くの氏子たちが力を合わせなければなりません。木遣は、山の神への感謝として、また氏子たちの作業の安全と湧きおこる力を願い、山と里に響き渡る独特の高い声です。諏訪地域の伝統と共にある木遣ですが、木遣師の高齢化が進み、その承継が難しくなりつつあります。木遣とヨイクの共演が、諏訪地域伝統の声の魅力を、改めて見直す機会になることを願っています。

御柱祭とは

日本最古の神社のひとつに数えられる諏訪大社。諏訪大社が司り、寅と申の年に行われるのが御柱祭です。上社、下社それぞれに、樹齢200年にもなる直径約1m、長さ約17m、重さ約10tのモミの大木8本を山から切り出し、1000人とも2000人とも言われる、氏子の人力のみで曳戻して、諏訪大社の各社殿の四隅に建てられます。

御柱祭は、神事であるとともに、観衆にとって、たくさんの見どころがあります。4月の「山出し」では、巨木の御柱が坂を下る「木落とし」、上社では冷たい雪解けの水が流れる川を渡る「川越し」などの勇壮な見せ場。5月の「里曳き」では、時代絵巻がたくさんの観衆を楽しませてくれます。次の御柱祭は2022年。ぜひ世界のみなさんに、諏訪の自然と歴史に思いをはせる、このお祭りをご観覧いただきたいと思います。

チケット予約先

先行予約など詳細は www.boazu-edu.com

↓今すぐアクセス



ファンクラブ

入会
無料

サーミ・フレンズ会員募集

特典

・コンサートチケット先行予約割引販売
4,500円→3,500円(1,000円割引)

先行予約受付期間 9/8~9/21

・サーミ情報発信

料金〈全席自由・前売のみ〉

- ・サーミ・フレンズ会員向け先行予約割引販売 3,500円
- ・一般販売: 大人 4,500円 / 中・高校生 1,500円 / 小学生 500円

茅野市民館窓口販売 **販売開始9/30~**

窓口販売問合せ: 茅野市民館 0266-82-8222

Web販売 **販売開始10/21~**

Yoik and Kiyari Project / Peatix →
Web販売問合せ: info@boazu-edu.com



ヨイクとは

ヨイクのルーツは、サーミ民族の伝統的な即興歌です。その対象として、太陽や月、山や川など、自然の成り立ちをストーリーのように、また感謝の気持ちを賛歌のように歌うこともあれば、大切な人、家族、友人などへの気持ちを歌うこともあります。とくに、声の使い方は特徴的です。ヨイクを一言で言い表すのは、難しいですが、サーミ民族の「心の声」という理解で聴いてみてはどうでしょうか。サーミ民族が住む北極圏の自然は、どこか霧ヶ峰高原から八ヶ岳連峰を臨む風景に似ています。ヨイクが、諏訪地域のみなさんの心にも響きますように。

サーミ民族とは

サーミ民族は、北ヨーロッパの北極圏に何千年も住んでいる先住民族です。現在、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、そしてロシアにまたがって住んでいます。もともとは国境に関係なく、トナカイ放牧と漁業で生活をしてきました。

しかし国の統治や強制的な同化が何世紀も続いたため、固有の言語と文化は、20世紀の半ばには絶滅の危機へ。一方、1980年頃、水力発電所建設によるトナカイ放牧地の破壊をきっかけに、軽視してきた先住民族への注目が集まりました。サーミ民族も、自らのアイデンティティを取り戻す勇気を持ち、その文化や歴史をサーミ語の演劇作品として発表。今回来日するノルウェー国立サーミ劇場・南サーミ劇場は、その中心的な役割を果たしてきました。現在、サーミ語はノルウェーの公用語となり、サーミ民族は、伝統文化を正規の教育プログラムとして学ぶこともできます。

関連企画

北欧絵本のキャラクターと諏訪の森で遊ぼう

諏訪地域の高校生を応援! ノルウェー大使館外交官と対談 (諏訪実業・諏訪清陵)

ノルウェーに学ぶ男女平等! 女性が輝く諏訪づくり (9月6日セラ真澄)

映画『サーミの血』上映会 (10月14日茅野市民館)

北欧と諏訪をつなぐ食卓の会 (11月10日セラ真澄)